

ひょうご伝説紀行

- 語り継がれる村・人・習俗 -

夢野

夢占いの結末は・・・



伝説 夢野
夢占いの結末は・・・

紀行 夢野

関連情報 用語解説
参考書籍
所在地リスト

夢野

夢占いの結末は…

はるかな昔、六甲山（ろっこうさん）のふもとに、夫婦の鹿が住んでいました。二頭の鹿は仲むつまじく暮らしていましたが、ある時、牡鹿（おじか）は淡路島（あわじしま）の野島（のじま）に出かけて、そこに住んでいた牝鹿（めじか）とすっかり仲良くなってしまいました。

それ以来、牡鹿は来る日も来る日も、海をわたって野島の牝鹿を訪れるようになりましたので、妻の牝鹿はさびしくてなりませんでした。

ある日、牡鹿は久しぶりに妻のところへやって来ました。

「実はね、昨日の夜、変な夢を見たのだよ。私の背中に雪が降り積もって、そこにススキがいくつも生えているんだ。これはいったいどういうことだろう。何かのお告げだろうか。」

妻の牝鹿は、牡鹿がいつも野島の牝鹿の所へ行くのをやめさせようと思って、ついこんなふうに言ってしまいました。

「それは、とても悪い夢ですわ。背中にススキが生えるというのは、猟師の矢がささるということです。それに雪が積もるといのは、肉を塩づけにされるというお告げです。

あなたがこれ以上野島にわたったら、きっと人間の船に出会って、射殺されてしまうにちがいありません。」

こんなふうには夢占いをしておけば、牡鹿はきっと自分のところにいてくれる。妻の牝鹿はそう思ったのでした。

牡鹿はちょっと気味悪く思ったので、しばらくの間は妻のところにはいましたが、やはり野島の牝鹿のことが忘れられません。ある日とうとう妻にかくれて、野島へ出かけてしまいました。

ところが赤石（あかし）の海を泳ぎ進んで、もうすぐ野島に着くという時になって、運悪く猟師が乗った船と行き会ってしまったのです。

「おう、鹿が海を泳いでいるぞ！」

猟師はそうさげふや、弓を構え、矢を射かけました。矢は牡鹿の背中につきささり、牝鹿の夢占いのとおり、牡鹿は射殺されてしまったのでした。

それ以来、夫婦の鹿が住んでいた野を、「夢野（ゆめの）」と呼ぶようになりました。人々は、牝鹿の夢占いが本当になってしまったのを、「夢占いというのは、良い方に占えば良いことがおこり、悪いように占えば、本当に悪いことがおこってしまうものだ。だから夢を悪く考えるものではない」と語り伝えたそうです。

牡鹿が射殺されたあたりの海は、今でも「鹿の瀬」と呼ばれています。またこの時流れた牡鹿の血が固まって、海の底に赤い石ができ、それが現在の「明石（赤石）」の地名のもとになったとも言われています。山陽電車の林崎駅（はやしざきえき）から南西一キロメートルほどの海岸から眺めると、いまでも海底の赤石が見えるということです。

紀行「夢野」

神戸市兵庫区。夢野（ゆめの）は、鶴越（ひよどりごえ）の山すそにある。心に響く美しい地名であるが、今は住宅が建ち並び、自動車の群れが道路を行き交う市街地となって、1300年以上前、鹿が住んでいたという「野」は、どこにも見ることはできない。この地に住む人も、この物語を知らない人の方が多いのではないだろうか。

淡路（あわじ）の野島（のじま）。海岸沿いにはしる道路は防波堤に守られ、その向こうにはコンクリートブロックで固められた海岸がある。昔は海際まで山が迫り、砂浜が細く長くのびていた場所だったであろう。

都市がひろがるとともに、昔の風景が失われてゆくのは仕方のないことかもしれないけれど、時には立ち止まって、古い話に耳を傾けてみるのも悪くはないと思う。

鹿の瀬（しかのせ）と呼ばれる海だけが、往古と変わらない波音を残している。



鹿の瀬を望む



鹿の瀬付近



野島の海岸

用語解説

【夢野】ゆめの

神戸市兵庫区夢野町付近を中心とした地域。六甲山系の菊水山（458.8m）からのびる尾根のふもとにあたり、標高は50m前後である。

【野島】のじま

淡路市北西部の海岸に沿った地域。かつてこの付近には、現在よりも沖へ突出した「高く平らかなる野」があったと、江戸時代に編集された『淡路常磐草』に伝えられることから、『万葉集』などで詠まれた「野島の崎」は、この部分に相当するという考えがある。現在は浸食によって海岸線が後退してこのような地形は見られないが、伝説にいう鹿が上陸した野島海岸も、こうした場所が想定されていたかもしれない。

【鹿の瀬】しかのせ

播磨灘唯一かつ最大の瀬（海域で特に浅い部分）で、最も浅い部分の深度は2m程度とされる。海底は砂質～砂礫質（されきしつ）で、イカナゴの主要な産卵場となっているほか、タイ、マダコなどをはじめとする多様な魚類の好漁場（明石・淡路の入会漁場）となっている。また近年では、ノリの養殖も盛んである。

参考書籍

	書籍名	刊行年	編著者名	発行者
伝説	兵庫の民話	1960	宮崎修二郎・徳山静子	未来社
	新版神戸の伝説	1998	田辺真人	神戸新聞総合出版センター
	伝説の兵庫県	2000	西谷勝也	神戸新聞総合出版センター
歴史・文化等	日本古典文学大系2 播磨国風土記	1958	秋本吉郎 校訂	岩波書店
	兵庫のふるさと散歩1. 神戸・阪神・三田編	1978	兵庫のふるさと散歩編集委員会	神戸新聞出版センター
	兵庫県大百科事典(上・下)	1983	神戸新聞出版センター	神戸新聞出版センター
	兵庫県の地名 日本歴史地名大系第29巻	1999	平凡社地方資料センター編	平凡社
	伝説の兵庫県	2000	西谷勝也	神戸新聞総合出版センター

所在地リスト



野島の海岸	淡路市野島江崎 付近
-------	------------

ひょうご歴史ステーション「ひょうご伝説紀行」は、兵庫県立歴史博物館により管理・運営しております。サイトで使用するテキスト・画像などのコンテンツ全般の著作権は当館に帰属し、無断での複写・転用・転載などを禁止いたします。

ひょうご伝説紀行

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo/historystation/legend/>

編集発行 兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町6-8 0792-88-9011

第1刷 2007年4月1日